

vol.101

2018 年 9 月号

公益財団法人国際障害者年記念 ナイスハート基金

〒105-0022 東京都港区海岸 1-4-26 ゆうらいふセンター

電話：03-3434-2170 FAX：03-5401-0681

URL: <http://www.niceheart.or.jp/>



な い す は あ と



ノンバーバルコミュニケーションワークショップ in みやぎ

表紙／写真 ノンバーバルコミュニケーションワークショップ in みやぎ	1
寄稿／ノンバーバルコミュニケーションワークショップ in みやぎ	
メイミさん（漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長）	2
庄崎隆志さん（office 風の器主宰・俳優・演出家）	4
報告／特定寄附金報告	7
ふれあいのスポーツ広場日程表／賛助会員御礼他	8



ノンバーバルコミュニケーション ワークショップ in みやぎ

主催 公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

後援 宮城県 / 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 / 社会福祉法人女川町社会福祉協議会

助成 社会福祉法人黎明会 福祉開発振興援助事業

日程 / 会場

9月4日(火) 障害者施設第二共生園 (宮城県東松島市)

9月5日(水) 石巻市障害者地域活動支援センターみどり園 (宮城県石巻市)

石巻市障害者地域活動支援センターかしわホーム (宮城県石巻市)

9月6日(木) 女川町地域活動支援センターうみねこ園 (宮城県牡鹿郡女川町)

ノンバーバルコミュニケーションワークショップは、言葉を使わずになかなか伝わらないもどかしさを感じながら、じっくりと相手と向き合うための空間です。そこから、自分らしい伝え方、伝えられ方を学び合う場として、ファシリテーターの庄崎隆志さんとメイミさんのご協力をいただき、宮城県において開催いたしました。

ノンバーバルコミュニケーション が持つ力

メイミ
Meimi



ノンバーバルコミュニケーションワークショップ 2018 では約2年ぶりに庄崎隆志さんと共にファシリテーターを務めさせて頂きました。改めてノンバーバルコミュニケーションが持つ力の素晴らしさを感じました。

今回訪れた4箇所の施設の内、私が参加させて頂いた3施設についてご報告致します。

最初に訪れた障害者施設第二共生園では、広さのあ

る体育館で行いました。グリーティングでコミュニケーションをはかり、和やかな雰囲気の中でスタートしました。準備中、会場のホワイトボードに庄崎さんがイラストを描きながら皆さんとコミュニケーションを取っていたところに私も仲間入りした形です。

もちろんながらファシリテーター二人も言葉はなくノンバーバルコミュニケーションなのですが、もし



やグリーティングは、久しぶりにペアを組ませて頂く私の肩慣らしも兼ねてくれたのでは？と今になって思います。

全体的に年齢層が高く感じられました。賑やかというよりは落ち着いた雰囲気の中、穏やかに皆さん楽しんでいらっしゃいました。

参加者が前に出て行なうプログラムもありましたが、積極的に前に出る方は少なく、こちらから誘い出しました。なかなか腰が上がらない方もちらほら。それぞれのペースがあるので無理強いすることなくご参加頂きます。

今は見ているだけで良いと思っていらっしゃるのか？照れて遠慮しているのか？どうしたら良いか分からないのか？等、表情や動きを察知し次に展開していく。ノンバーバルは大きな身振り手振りだけではありません。細やかにキャッチしていく大切さを感じたワークショップとなりました。

そんな中、終了後に職員の方がとても喜んで仰いました。

「あちらの利用者さんは普段は自ら立ち上がって参加することはないのに、今日はずっと立ち上がっていたので驚きました！！」

その方は、初めのうちはニコニコ見ているだけだったのですが、後半の変身ショーに誘い出すと拒むこ

となく笑顔で前に来て下さったのでした。

次に訪れた石巻市障害者地域活動支援センターみどり園では、積極的に前に出て参加する方たちが多く活発な雰囲気でした。

よく体を動かす内容は盛り上がり、エアボール一つ取っても野球ボールから風船へ、更にはボーリングまで様々なエアボール遊びを展開しました。そして、笑わずにはいらなかったのは、相手の動きをまねっこするミラーリングです。



最初はまねっこしていたはずが、途中からチャンバラが始まったり、気付いたら盆踊りのようなダンスが始まったりとプログラムが型にはまらず変化していく様子が非常に面白かったです。

きっちりと内容を定めず、その時の状況に応じてプログラムを進行していくのがノンバーバルコミュニケーションワークショップの特徴の一つ。醍醐味でもあります。

日頃、何かと型にはめることに慣れている私たちにとって、この何でもありの柔軟さは、学ぶべきことが多いです。

次に訪れた石巻市障害者地域活動支援センターかしわホームでのワークショップが私が参加させて頂く最終回となりました。

少人数でアットホームな雰囲気でした。

他の2施設と比べるとよりサポート的な立ち位置が多かったように思います。

このワークショップでファシリテーターを担わせて頂くようになった初期の頃、庄崎さん主導のプログラムの際、参加者の後ろから見ていたことを思い出しました。

今では、庄崎さんと同じ目線で皆さんに向かって、より庄崎さんの想いが伝わるように、より皆さんが積極的に参加できるようにという気持ちで動いてい



ることに気付きました。

コミュニケーションの形は様々。1対1のキャッチボールもあれば3人のトライアングルや複数のコミュニケーションもあったり。

様々な個性がノンバーバルコミュニケーションによって繋がります。

この日、最後にアンコールがかかりました。アンコールでは汽車ごっこで全員が連なりました。全員が主役でもあり、そして皆が一つになり幕を閉じました。

今回の参加にあたり、事前に前回の資料を見返しましたが「こんなことやってたんだなあ」と記憶が曖昧で始まる前までは正直ドキドキしていました。しかしながら、始まった途端、感覚が蘇ったのです。ノンバーバルコミュニケーションは頭で覚えるものではなく、肌で心で覚えるものだ実感しました。

そして、好きなときにいつでもその感覚を取り出すことができるのだなあと感じました。

日常の中にノンバーバルコミュニケーションが活かされる場面は多々あります。

私事で恐縮ですが、今春子供が生まれ、まだ言葉を習得しない赤ちゃんとの生活はノンバーバルコミュニケーションの連続です。

ワークショップで磨いたノンバーバルがここでも活かされるのかと驚いています。

各施設を訪れて思うのは、皆さんとても個性豊かで魅力的だなあということです。

その素敵な個性をより引き出す力があるのがノンバーバルコミュニケーションです。

～メイミ プロフィール～

漫談家・介護福祉士・NPO法人笑顔工場理事長。港区登録手話通訳者。舞台や各種イベント、様々な場面で漫談家・司会者等の活動をする傍ら、デイサービスセンターで介護福祉士として高齢者介護に携わる。特定非営利活動法人笑顔工場を設立し、福祉施設でのお笑いライブを展開。様々なボランティア活動にも積極的に取り組んでいる。これからの長寿社会に向け、「笑って長生き」という考えを広める為の活動を展開している。アイディアヒューマンサポートアカデミー/カウンセリングスキルベーシック/トップメンタルトレーニング修了。日本アロマセラピー統合医学協会認定心理アロマアドバイザー。クエスト総合研究所認定/クエストアートセラピーメンタルケア・アドバイザー

ノンバーバルコミュニケーション ワークショップへの思い

庄崎 隆志
Takashi Shozaki



今回のノンバーバルコミュニケーションワークショップ報告と題して、報告する前に、3・11あれから七年間を振り返って簡単に説明しておきたいと思います。東日本大震災が発生した2011年（平成23年）3・11から7年。もう7年なのか、まだ7年なのか、震災後の5月の現地訪問のことが昨日のように目に焼

き付きながら感じられます。3・11震災後、しばらくは東北ワークショップや公演、講演会のキャンセルや延期がありました。震災直後から、東北の以前公演を開催して下さった特別支援学校や養護学校、地域団体の安否を確認していましたが、同時に私に何ができるのかを考え続けました。そ



エアボール

んな中、ナイスハート基金からの依頼があって、「5月に震災地へ支援公演に行きましょう」という話となっていたため、震災後の最初の福島に派遣することになり、再び運命的なものを感じました。やはり東北の障害者にノンバーバルワークショップを届けることだと考えさせられた出来事でした。

福島の学校3カ所に訪問すると校庭にはまだ放射能物質が残っており、まだ混乱の中という雰囲気でした。体育館や多目的室で行うことになり、ワークショップの進行としては、暗示するものまったく無しで、この場で思いついたノンバーバル表現をすることができました。参加者自身が「ありのままの自分」よりも「今日の自分」を感じあってもらいたいし、お互いに受けとめ合うという目的の一つです。

特徴的だったのはノンバーバルワークショップをやっているうちに障害をもった子どもたちが大声をあげて笑い転げることでした。学校の先生からはワークショップ終了後「笑ってくれる子どもたちのいきいきとした表情を見たのは久し振りです。とても嬉しく本当に泣きました！」と感想をもらいました。その後、二回目の福島を訪問したり、熊本にも震災後のワークショップを行い、笑ったり感じたりする自分を取り戻してもらうことが私たちに確信して「ノ

ンバーバルコミュニケーションワークショップ」の活動を進める力となりました。

今回は宮城県東端への「ノンバーバルコミュニケーションワークショップ」訪問は東松島、石巻二ヶ所、女川町へノンバーバルワークショップを届けました。

四ヶ所のワークショップは完全なプログラムではありません。それぞれのワークショップを実施してみて、同じ障害を1つとってみても、参加する人たちの特徴と個性が一人一人違います。また同じノンバーバルワークショップといっても四ヶ所の障害者施設も様々です。

ノンバーバルコミュニケーションは多種多様なアプ



変身ショー

ローチ方法を用意することで、丁寧に障害者を尊重しながら寄り添うのです。参加者の実態に臨機応変しながらふれ合うことが大切ではないかと思います。それに伴い、もう一人のファシリテーターのメイミさんとのコンビネーションは、何度やっていても新鮮な視点を実感することが出来ました。メイミさんの向き合う姿を見ると“心も体も笑顔も”ほかほかで楽しい雰囲気が少しずつ変化していくことがとても良い刺激になりました。



チコロマイム「海」

ワークショップを開始すると、なるべく直接ふれ合ったり理解してもらうようハイタッチで行ったり、汽車ごっこや鏡マイム、架空の縄跳びとかひとつの動きを繰り返すことで楽しんでもらいました。

私たちワークショップは、目を合わせたり動きを見てもらったりすることで始まるコミュニケーションなので、目が合わないことも多くあり、なかなか進まないようにみえることもあったり、意思疎通が十



エアーなわとび

分でなかったり、自力での移動が困難なこともあります。ノンバーバルワークショップ体験から疎外されてしまうことが無いようにどんな動きが出てくるのか、いつも一緒にいるメイミさんとお互いフォローしあいコミュニケーションしやすいワークショップとなりました。特に「真似をする」ことをよく行いました。向き合っ鏡のようになってたり、汽車になったりとパターンを変えて色々やってみました。何気ない動きが新鮮に見えました。私自身がノンバーバルコミュニケーションに対する新しい視点を多く得ることができました。今回のワークショップは、私にとっても真剣に演じることや自分のカラダと向き合う時間となりました。

9月6日、北海道胆振東部地震で驚きました。熊本地震、西日本豪雨災害などのトラウマも続き、被災地の困難はなお続いています。伝えていく大切さを改めて感じます。

これまでの経験を伝え、災害と障害者のための芸術の活動を継続してまいりたいと思います。こうした被害地への支援企画「ノンバーバルコミュニケーションワークショップ」が始まった大きな変化の流れを、一歩進めることになったと確信しながら、そのような仕事にもっと関わりたいし、多様な人たちが参加し、かかわり合うこの場がさらに育っていこうと、

私は自分に言い聞かせているところでもあります。ナイスハート基金、メイミさん、現地スタッフの佐藤一樹さん、障害者施設の関係の皆さんに支えていただいたお陰で宮城県の東端4ヶ所でのワークショップはどれも充実した中身だったこともさることながら、

何事もなく無事にたどり着くことが出来ました。今回もワークショップファシリテーターとして関わることが出来てとても嬉しい限りです。この場を借りて感謝申し上げます。これからもナイスハート基金との絆を大切に行きたいと思いますのでご協力をよろしくお願いいたします。



ハートマーク

～庄崎 隆志 プロフィール～

office 風の器主宰・俳優・演出家。

19歳で裏方のアルバイトのつもりで入ったプロフェッショナル劇団「デフ・パペットシアター・ひとみ」で思いがけず役を貰い、俳優に。演出・脚本も手がける。国内で2000回以上、また海外13カ国で公演の経験を持つ。2005年の退団後は公演プロデュース、また実践女子短大をはじめ様々な教育の場や国立特別支援教育総合研究所等でワークショップの講師としても活躍。映画『ゆずり葉』（全日本ろうあ連盟製作）主演。著書に「障害者と福祉文化」（第8巻・明石書店）他。2010年「第59回横浜文化賞文化・芸術奨励賞」受賞。

ありがとうございました・特定寄付募金活動 ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップ in みやぎ

みなさまに募金を呼びかけました「ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップ in みやぎ」につきまして、前頁までにご報告をいたしました通り、無事に盛会の内に終了することができました。多くの個人、団体のみなさまからご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

また、(福)黎明会福祉開発振興援助事業から貴重な助成金をいただき、充実した事業とすることができました。

9月4日(火)

第二共生園(宮城県東松島町) 53名

9月5日(水)

みどり園(宮城県石巻市) 36名

かしわホーム(宮城県石巻市) 28名

9月6日(木)

うみねこ園(宮城県女川町) 13名

※収支の決算状況につきまして、右記の通りご報告いたします。

募金総額 368,000 円 (8 団体 / 3 個人)

科目	決算額	備考
(1) 経常収益		
受取寄附金	368,000	特定寄附金
受取助成金	500,000	(福)黎明会福祉開発振興援助事業
経常収益計	868,000	
(2) 経常費用		
事業費		
旅費交通費	229,943	移動費、宿泊費
諸謝金	400,000	講師、手話通訳謝礼
消耗品費	114,000	記念品代
会議費	64,902	打ち合わせ経費
通信運搬費	0	
経常費用計	808,035	
増減額	59,965	残高は来年度に使用



早着替え



ワグ



汽車ごっこ



ふれあいのスポーツ広場下半期日程

平成30年度のふれあいのスポーツ広場について下半期の開催日程をご案内致します。滋賀県竜王町を皮切りに19会場での開催を予定しています。

No.	開催地	日程	会 場
1	滋賀（竜王）	9月23日（日）	竜王町ドラゴンスポーツセンター
2	秋田（横手）	10月9日（火）	横手体育館
3	東京（三鷹）	10月13日（土）	SUBARU 総合スポーツセンター
4	青森（青森）	10月15日（月）	新青森県総合運動公園マエダアリーナ
5	千葉（千葉）	10月15日（月）	千葉公園スポーツ施設体育館
6	新潟（新潟）	10月17日（水）	新潟市西川総合体育館
7	熊本（大津）	10月20日（土）	大津町総合体育館
8	長崎（長崎）	10月23日（火）	長崎県立総合体育館
9	佐賀（佐賀）	10月24日（水）	佐賀市立諸富文化体育館
10	島根（松江）	11月5日（月）	松江市総合体育館
11	鳥取（米子）	11月6日（火）	鳥取県立米子産業体育館
12	和歌山（和歌山）	11月7日（水）	和歌山ビッグウエーブ
13	静岡（浜松）	11月10日（土）	可美公園総合センター体育館
14	愛知（岡崎）	11月10日（土）	三菱自動車工業岡崎工場内体育館
15	山梨（甲府）	11月13日（火）	山梨県緑が丘スポーツ公園体育館
16	大分（大分）	11月14日（水）	大分県立総合体育館
17	三重（いなべ）	11月17日（土）	大安スポーツ公園体育館
18	埼玉（狭山）	11月17日（土）	本田技研埼玉製作所体育館
19	大阪（大阪）	11月21日（水）	大阪府立体育会館

ナイスハートなご支援をありがとうございました

平成30年6月から9月の間に、当基金へ賛助会員加入や寄付金並びに特定寄附金を頂戴いたしました。いただきました資金は、それぞれの活動のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

【賛助会員】

斉藤信之様、岩佐浩一様、（特非）ハートフルふきあげ
理事長 伊津井啓一様、（福）ポム・ド・パン 理事長
松原廣様、（特非）コスモス様、（特非）はまなす会
ゆうゆう様、たかね園様、（福）牧人会 須賀川共栄育
成園 管理者 斎藤信一様、ふじ健介様、（福）暁雲福祉
会 八風・マーヤの園様、合田雅一様、（特非）栗山町手
をつなぐ育成会 理事長 坂本武様、佐賀市身体障害者
福祉協会連合会兵庫支部 長崎武彦様、（特非）きのこ
ハウス様

【寄附金】

（一社）山梨県重症心身障害児（者）を守る会 あゆみ
の家様、後藤幹一様、子浩法律事務所 小林浩平様、織
本真一郎様、（特非）フレンズ様、（福）四ツ葉福祉会

理事長 青戸雄一様、島田初江様、きずなハウス様、自
立支援センターほのほの様、（特非）EGAO 理事長 瀬戸
悟様

【特定寄附金（ノンバーバルコミュニケーションワークショップ）】

鈴木英仁様、（特非）らっふる様、合田雅一様、狭山手
をつなぐ親の会 代表 佐藤真砂子様、（福）安芸の郷
様、（特非）自立支援センター歩歩路 理事長 潤口良一
様、潤口良一様、奥川法律事務所 弁護士
奥川貴弥様、（株）全国儀式サービス様、
（特非）北九州精神障害者福祉会連合会様
（順不同／敬称略）

